

勝海舟記念館企画展

# 異国見聞

ー米国航海から得た想いー

令和4年7月1日(金)～8月28日(日)



## 大田区立 勝海舟記念館

Ota City Katsu Kaishu Memorial Museum

■開館時間 午前10時～午後6時

※月曜(祝日の場合は翌日)、年末年始を除く

6月27日(月)～6月30日(木)は展示替えのため休館

■入館料 一般300円、小中学生100円(各種割引有り)

■所在地 東京都大田区南千束2-3-1

■電話 03-6425-7608

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限や、人数制限をしております。最新の情報は、区ホームページをご覧ください。



# 企画展

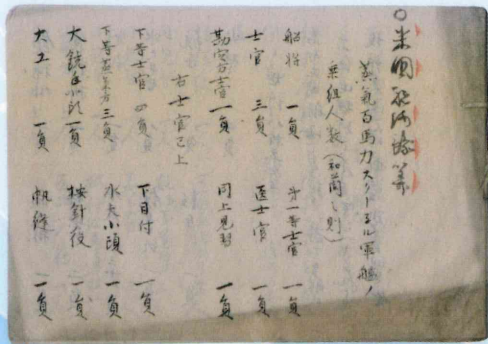
# 異国見聞 - 米国航海から得た想い -

令和4年7月1日(金)～8月28日(日)

勝海舟は幕末～明治にかけて、各地の台場・砲台の築造や長崎海軍伝習所での訓練、アメリカ航海を経て、幕府・藩の枠組みを超えた国全体の海軍を創り上げることに力を注ぎました。中でもアメリカ航海は、海外の事情に直接触れたまたとない機会であり、海舟の「世界の実情を見たい」という青年期以来の宿願を叶える出来事でもありました。

出発から帰国までの約100日間、外国の海軍軍人・政治家との交流や、機械産業の見学、薪・水の補給のために立ち寄ったハワイ王国での体験から、海舟は大いに刺激を受けます。

本展では、海舟がアメリカ行きを懇願していた様子がうかがえる手紙や、滞在先の様子を伝える絵画や写真、息子に留学を推奨していたことがうかがえる資料などを展覧します。これらを通じて、海舟の海軍創設へと繋がる熱意や、「世界を見て欲しい」という次世代への想いに触れてみてください。



「米国航海予算」(1859年)

### ■資料説明

乗組員の航海に必要な150日分の食料(米、水、醤油、豆、肉類など)や物品などが記されている綴。

これは軍艦奉行・水野筑後守忠徳の指示で海舟が割り出したものです。咸臨丸に積み込まれた食料・薪水などの量は、これを参考として決められた可能性があります。

海舟だより  
第14号

## ■祝 来館者5万人達成!



来館者5万人記念写真(勝海舟記念館にて) ※撮影時のみ一時的にマスクを外しています

全国からお越しいただき、ありがとうございました。

2023(令和5)年には海舟生誕200年を迎え、海舟の業績を家族の視点から紐解く「家族展」をはじめ様々な取組みを行う予定ですので、ぜひご期待ください!

## ■勝海舟基金への寄附を募集中 (ふるさと納税対象)

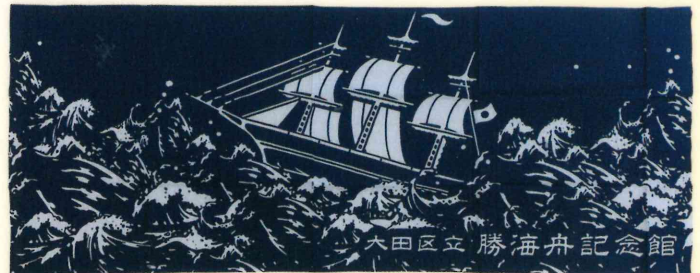
皆様からお寄せいただいたご寄附で購入・修復した資料は、調査研究をすすめ展示してまいります。令和3年度は、海舟が徳川家から拝領した肩衣について、シワや汚れをとる修復を施し、企画展で現物を初公開しました。



▲  
詳細はこちら

## ■新ミュージアムグッズ 発売!

「てぬぐい」



アメリカへ向かう咸臨丸をモチーフにした「てぬぐい」を、企画展に合わせて7月1日に新発売します。勝海舟記念館オリジナル商品で、咸臨丸が荒波の大海原を進む、迫力あるデザインとなっています。

¥1,200

「ポストカード」 各¥100

「付箋」 ¥500(2種1セット)



新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部コンテンツの利用制限を行っています。最新の開館情報などは、区ホームページや公式ツイッターをご覧ください。



公式ツイッター



ホームページ



インスタグラム

発行:大田区立勝海舟記念館  
令和4年7月発行